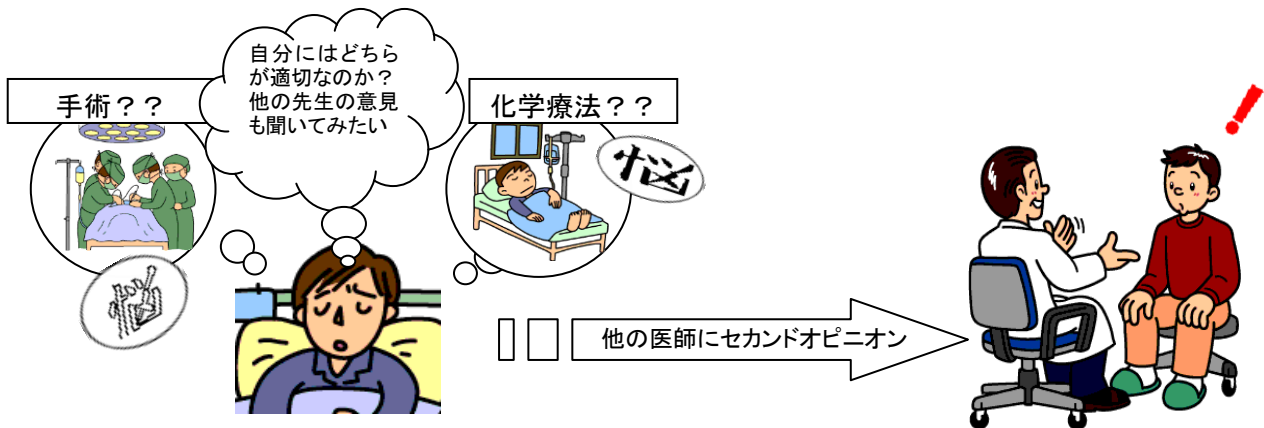


ご存知ですか？

セカンドオピニオン

セカンドオピニオンとは・・・

直訳すると「第二の意見」であり、実際の診療の現場で重要な判断をする場面において、主治医以外の意見を求める行為です。



◇ なぜセカンドオピニオンが必要なのでしょう？

高度化する医療技術の恩恵を授かる機会が増える反面、患者さんにとって診療内容の理解、把握が難しくなり、例えば治療の選択をなかなか出来ない、納得出来ないという場面があり、主治医以外の専門医にも意見を求めたいという希望も少なくありません。また、病気は主治医任せというのではなく、積極的に自己の問題として関わるのが重要という考えから、複数の専門医の意見に基づいて、納得して治療を選択したいという患者様も増えています。そのような背景からセカンドオピニオンが必要になります。

◇ セカンドオピニオンを受ける前に知っておかなければならない事

- ① 間違いやすいのですが、主治医を変えたり、他の病院に転院したりすることを目的としていません。
- ② あくまでも、「意見、説明を聞く」ことが目的ですので、新たに検査、治療等の医療行為はしません。
- ③ セカンドオピニオンは別の医療機関の主治医以外の医学的意見の範囲に止まるものであり、治療方針や診断の最終決定を行うものではありません。
- ④ セカンドオピニオンは保険診療ではなく自費診療です。各医療機関で値段設定は異なりますが30分5千～2万円が相場です。

◇ セカンドオピニオンを受ける利点

セカンドオピニオンを聞いて、主治医の方針に納得できれば、現状の治療に安心して取り組みます。病気や治療法に関する患者の理解が深まれば、それは結果的に医師との信頼関係を築くことにもなります。

◇ どんな準備が必要でしょうか？

- ① 疑問点はまず主治医に聞いておきましょう。
病状をもっとも理解しているのは主治医です。セカンドオピニオン医に質問する前に主治医の意見をきちんと聞いてください。
- ② 受け入れ先に確認しましょう。
すべての病院でセカンドオピニオンを実施している訳ではありません。受診前に病院に電話をして、受け入れ体制、予約の有無、持参する資料、費用などを確認しましょう。
- ③ 診療情報提供書(紹介状)をもらいましょう。
主治医に紹介状を書いてもらい、病理検査、画像診断、内視鏡検査、血液検査などの検査結果をもらいましょう。
- ④ 聞きたいことをまとめておきましょう。
これまでの経過や質問事項、それに対する主治医の意見をまとめてメモしておきましょう。

◇ その他

まれにですが、自分にとって都合のいい診断と治療法にたどり着くまで、次々と医師を変えてよいと誤解している方がいらっしゃいます。それは「ドクターショッピング」であり、それが自分にとって最善の医療とは限らないこともありますので注意が必要です。

わからないことがありましたら、地域連携課までお立ち寄りご相談下さい。